

<週報No. 2,940> 3,051 回例会

2021年4月2日(金)

■会長/岩波 寿亮 ■幹事/小口 泰幸

◆司会=小針哲郎 副SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本日	60.42%	19名欠席
前回訂正	87.76%	6名欠席

◆ラッキーナンバー=No.11 小島拓也君

◆ニコニコボックス=●岩波寿亮君、小口泰幸君=本日、オリンピック聖火リレーが湖畔で開催されます。無事に終わりますようお願いしています●北川和彦君=先日会長エレクトの研修会を受けてきました。いろいろ課題をいただきました●五味武嗣君=娘が無事高校を卒業して進学しました。受験のピリピリからやっと解放されました●小島拓也君=息子が高校受験、合格しました●小島拓也君=ラッキーNoにあたって。

◆会長告知・岩波寿亮会長=4月に入り、新年度という言葉も使われます。コロナ禍での桜の早すぎる開花も、ひとつの様な今日この頃です。ウイズコロナ、ポストコロナの新たな日常が、なかなか発想できません。

諏訪市では小学校の統合が行われました。そんな中ですが、計画に従い進められているのが、学習指導要領の改訂です。小学校では2020年度、中学校では2021年度全面実施、高等学校では2022年度の入学生から年次進行で実施されることになっています。なぜ改訂されるのか?という、「変化の激しい時代に合わせるため」であり、新しい学習指導要領で育む資質・能力とは?『「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」3つの柱』、新しい学習指導要領の下で学ぶ内容は?『「外国語教育」や「プログラミング教育」などが充実』するとし、どのように学ぶか?も重要で『キーワードは「主体的・対話的で深い学び」の視点』となっています。これは実際には昨年以前の文部科学省のことで、中学・高校へと進むに従い、経済産業省でも「未来の教室」として「STEAM ライブラリー」構築事業を推進しています。SDGs と関連付けていると考えられます。経産省も教育に危機感を持っています。国土交通省では、年度末3月30

日に、関係人口の拡大・深化と地域づくりをどう進めていくか、について「ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇話会」最終とりまとめが発表され、31日には「データを活用したまちづくり～取組のヒントと事例～」が発表されています。また、昨日年度初め4月1日のプレスリリースにおける、令和3年度 官民連携まちなか再生推進事業の実施事業者を決定という中に、全国59の中に諏訪市の上諏訪駅周辺地区が「対象エリア」として入っていました。これは、官民の多様な人材が参画し、未来ビジョン等の作成を行う「エリアプラットフォーム」の構築に資する取組や運営、まちなかの将来像を明確にした「未来ビジョン等の新規策定」を支援します、というものです。

諏訪市の対象エリア「上諏訪駅周辺地区」については「市民の動きと公共の動きを連動させながら、歩いて楽しく暮らせるウォークブルな市街地形成、市民と来街者の交流促進等を図り、「人々が出合い、憩い、楽しめ、かつ安心して住み続けることのできるまちづくりを目指し、未来ビジョン等の新規策定に向けたエリアプラットフォームの構築を行う」との事業概要になっています。きっと諏訪湖イベント広場の活用を含むことと思います。注目と参画を皆様にもお願いいたします。

今日は、官庁のHPやメルマガからのことばかりでしたが、次の次の世代のこと、幸福な生活とは何かを思い、以上とします。

◆幹事報告・小口泰幸幹事=①本日は、ロータリー情報委員会担当のクラブフォーラムです。三井委員長よろしくお願ひします。②4月のロータリーレートは、1ドル110円です。③先日ご案内した「医療従事者支援チャリティーゴルフコンペ」ですが16名の方にお申込みいただきましたので諏訪グループ事務局に報告しました。④4月1日付で、諏訪市副市長が渡辺さんから後藤さんに交代となりました。案内状が会長宛てに届いておりますので回覧します。⑤来週は金子諏訪市長をお迎えして新年度所感をお聞きします。多くの皆様のご参加をお願いします。⑥再来週4月16日(金)の例会は親睦・クラブ親善委員会担当のガバナー補佐訪問、お花見例会です。当日、15時30分から紅やで諏訪商工会議所の会員交流会が行われます。そちらからご参加の方はほどほどに願ひます。⑦本日、月初の定例理事会はございません。

◆クラブフォーラム ロータリー情報

●ロータリー情報委員会 三井章義委員長=今日は久し

ぶりにロータリーの例会らしい雰囲気の中で食事ができ、



お話をさせていただくことができ大変うれしく思っております。本当は毎週、ロータリー情報を3分間スピーチでやるのが望ましいとRIから言われており、かつ

ては私も毎週やっておりました。今はこのような状況で、ロータリー情報委員会の仕事を十分に果たしていないと思いますのでまず最初にお詫びを申し上げます。どんなお話をしたらいいのかなと思いましたが、今うちのクラブも新しい会員の方がかなり増えており、ガバナーとはどんな仕事をするのか、ガバナーはどうやって選ばれるのかということ、ご存知ない方が多いんじゃないかと思っておりますので、今日はガバナーについてお話をさせていただきたいと思っております。

【ガバナーについて】ガバナーは国際ロータリーの役職であり、RIの理事会の一般的な指導監督、そういったものを各地区にお伝えするという大変重要な役割を持ったお仕事で、各地区では国際ロータリーの役員はガバナー1人です。ガバナーはあるクラブの方であり、地区の役員ではありますが、実は国際ロータリーの役員です。これは、よく考えてみると大変なことじゃないですかね。それこそ大きな仕事があります。地区内のクラブの管理はガバナーの直接監督下でやらなければならないわけです。ガバナーは地区内のクラブを啓発し、意欲を与え、地区内に継続性を確保するものとする、とRI細則で決められています。可能な限り最適な候補者を得るためにガバナーは自分の所管区域のクラブからガバナーにふさわしい人を見つける、これもガバナーの仕事です。もしガバナーが見つからないようであれば、また別の手続きがありますが、とにかく各クラブに公式訪問に行った際に、ガバナーにふさわしい候補者を推薦してくださいとお願いして歩いているはずですよ。ガバナーの任務はRI細則に15項目にわたって明記されておりますので、後ほどご紹介をさせていただきたいと思っております。

【最近の嬉しいニュース】今日は、私にとっても大変うれしいニュースがありますので、これをまず皆さんにお伝えしようと思っております。そこにいらっしゃる宮坂会員のいところになります折井正明さんという方が、3年後のガバナーになります。松本ロータリークラブの方です。こ

の方は「ガバナーノミニー・デジグネート」です。最近、ガバナーノミニー・デジグネート決定宣言というのが、私のところに送られてきました。折井さんは実は諏訪クラブとも大変関係が深く、略歴を紹介いたします。生年月日は1957年（昭和32年）で現在63歳、2003年9月に松本ロータリークラブに入会され、翌2004年4月に当諏訪ロータリークラブの会員になったんです。折井さんのお父様が経営しております三菱電機の諏訪支店に転勤になり、そんな関係でうちのクラブへ2004年4月に入会され、5年間我々と一緒に活動されました。2009年7月に松本ロータリークラブに再入会をされ、2011年から2012年に松本ロータリークラブ幹事。2018年から2019年までは松本ロータリークラブの会長もされております。地区では大変色々な役をやってこられてましたが、2014年から2015年までは地区ロータリー財団補助金小委員会の委員、2015年から16年は地区ロータリー財団セクレタリー、2016年から2018年までは地区ロータリー財団補助金小委員会の委員長もされております。2016年から地区国際室が新たに設けられまして、その室長をずっと現在までやっておられます。非常に有能な方です。2019年から2020年までは、中信第一グループガバナー補佐をなされました。ロータリー財団のポール・ハリス・フェローはもちろん、マルチプル・ポール・ハリス・フェローも7回やっております。ベネファクターにもなられ、ポール・ハリス・ソサエティ、さらには米山功労者マルチプルを4回されております。こういった経歴の方で、私はこの方が将来ガバナーになられることを大変うれしく思っております、特に諏訪クラブとも関係が深いので、ご紹介をさせていただきました。

【ガバナーになるまでの名前について】ガバナーノミニー・デジグネートは、10年ぐらい前に初めてこの制度ができました。ガバナーに指名されたよということを皆さんに知らせる意味だそうですね。デジグネートとは明示するということの意味です。その後、ガバナー・ノミニーになるんですね。ノミニーの次に就任するのがエレクトです。ガバナー・エレクトというのは、就任1年前からエレクトになります。その後ガバナーに正式に就任し、任期は基本的に1年です。2年続けてやることはありません。そしてガバナーが終わるとパスト・ガバナーになりまして、死ぬまでパスト・ガバナーです。この名称についてですが、私はいつもガバナーは魚のブリのようなものだ

と思います。年数が経つにつれて名前が変わりますよね。皆さんご存知かもしれませんが、関東と関西では多少呼び名が違います。関東では23センチの大きさになるとワカシ、30センチになるとイナダ、54センチになるとワラサ、そして70センチ以上がブリだそうです。関西では20センチまでがツバス、30センチから40センチがハマチ、60センチになるとメジロ、60センチ以上になるとブリと言うんです。さてガバナーにはどうやって選ばれるかということをお願いします。決して密室で決められるわけではありません。第一段階は、ガバナーは各クラブに対してガバナー月信を通じて候補者の推薦をお願いします。推薦があれば地区の指名委員会で候補者を決めて、地区の諮問委員会に諮り、承認を得て決定し、最終的には地区大会で承認をいただきます。そこでガバナーが決定します。もし推薦がない場合は、ガバナーにふさわしい人を各クラブに推薦をしてもらうよう要請することができます。あるいは自分自身で公式訪問に行ったときに、素晴らしいなと思うような方がいましたら、地区の指名委員会に推薦することができるんです。最終的には、その指名委員会で決めますとロータリー細則に基づき、指名委員会の名前で地区公示を行います。対抗候補が出なければ、指名委員会が推薦した人が、ガバナー・ノミニエ・デジグネートになるということです。

【ガバナーと国際協議会】ガバナーというのは、国際協議会へ出てその国際協議会の全日程をこなさないとガバナーになれません。今、世界で530地区あります。530地区のガバナー・エレクトですね、その時点では。国際協議会に出席義務があります。そしてその奥さんも同伴しますので1060人です。その他に国際協議会の役員やリーダーとかいろんな人が加わり、1500人近い人がこの国際協議会に参加するわけです。私の場合は、カリフォルニア州のアナハイムという都市のホテルに10日間ぐらい缶詰になりました。で、朝の9時から夕方5時まで勉強勉強ということで、研修を受けるわけです。研修を受けて初めて、インカミングガバナーという名前になります。またここで名前が変わります。インカミングガバナーは国際協議会の開催日から7月1日までの間ですから、期間は年によって違います。1~2週間の間にインカミングガバナーという名前を頂戴します。さて協議会についてですが、大きな協議会は3つあります。一つは今申しあげました国際協議会。その次は地区協議会。地区

協議会は次年度の役員のための地区の勉強会です。最後はクラブ協議会。クラブの次年度に対する勉強会ということでもいいかと思います。

【第2600地区の現況】第2600地区のガバナーはどのような状況かをご報告申し上げますが、皆様ご存知のように、成田守夫さんが2020年から21年の現在のガバナーです。この方は上田西ロータリークラブです。で、隣の茅野クラブの桑沢一郎さんが現在、ガバナー・エレクトです。1年前ですから、彼は今年の7月1日からガバナーに就任します。で次の方、2022年から23年までの方は、須坂五岳ロータリークラブの上沢広光さんです。この方は今、ガバナー・ノミニエです。2023年から24年がさっき申しあげました折井正明さんで、ガバナー・ノミニエ・デジグネートということになります。もう一度申しあげると、ガバナー・ノミニエ・デジグネートというのは、ガバナーの指名を受けた人だということになります。ただ明示するだけの呼び名です。ガバナー・ノミニエというのはRI細則によって、ガバナーに就任する年の2年以上前、3年以内の間に選ばなければならない、ノミニエは就任1年前にエレクトになり、エレクトは、インカミングガバナーを経て就任の日に初めてガバナーになるということです。ものすごくややこしいですね。

【副ガバナーについて】さてガバナーが病気になったりして、ガバナーの仕事ができなくなった時にどうするかという疑問があると思いますが、これも10年ぐらい前になりますが副ガバナー制度というのができたんです。諏訪クラブの例で申し上げますと、布半さんの元の社長の藤原正男さんが当地区のガバナーをやっていたことです。10月の地区大会の目前であまりにハードな公式訪問を夏にやられました。真面目な方で、布半を出て1週間ぐらい名古屋のホテルに泊まり続け、愛知県を先に公式訪問し、そのあとは長野県をやりましょうと。そのとき私は地区幹事だったんです。10月の半ばごろですが名古屋の駅前の都ホテルで彼が突然倒れました。急性の肝臓炎でした。1週間ぐらいホテルで療養した後、諏訪へ帰って来られて、直ちに信大へ入院されました。いわゆる肝臓病で大変でしたが、ガバナー公式訪問はまだ半分以上残っており、どうしようということになりました。ガバナー職は、ガバナーの経験者つまり国際協議会で研修を受けた人でなければできません。私は困りまして、名古屋へ飛んでいって、パストガバナーの皆さんに

集まってもらい、こういう事情だからパストガバナーにしかガバナーの代行はできないので、どなたかやってくださいとお願いしたら、皆さんやってくれなかった。事前に通知してあったので、中にはここ（胸ポケット）から病院の健康診断書を出して、俺はこういう病気だからやれないよ、というような方もいらっしゃいました。困りました。じゃあこれからどうするんだと。そこで愛知のパストガバナーの方々が知恵を絞って、RI に対しては藤原ガバナーは元気だということにして、その代わりに、藤原さんの名前で俺たちが手分けをして公式訪問すると。こういう作戦を始めてくれましたが私としてはそれは困るんです。つまり事務局が公式訪問の報告書を全部 RI に送らなければならない。行ってきたごとに報告書を送る必要がある。それを全部藤原さんの名で最終的には私が RI に送ったんですけどね。その愛知のパストガバナーたちは、何かとても嬉しそうな顔をしてました。また公式訪問ができるわけですよ。滅多に公式訪問なんかできないので。それで皆様大変生き活きとして、愛知県は愛知県の、長野県は長野県のパストガバナーが 2 人おりましたので、その方たちがやってくれて、とうとう翌年の 6 月 30 日まで RI に対しては、藤原さんは元気だということで押し通してしまいましたが、後で聞いたら薄々 RI は知っていた、と。さて、こういう事態が起きた時に困りますのでこの副ガバナー制度を作ったわけです。ただ、いろんなところを見ても副ガバナーという人は、名簿には 1 人も載ってません。だからこれは、必要が生じたときに副ガバナーを任命するということが運用をしていると思います。ガバナーの指名委員会が 1 名のパストガバナーを副ガバナーに選出することができるということになっているわけです。

【ガバナーの任務（15 項目）】では、ガバナーとはどんな仕事をしてるのか、我々は全然接することはできないんですが、具体的に紹介します。ガバナーは地区およびクラブの指導者と協力し、地区リーダーシッププランへの参加を奨励すべきである。さらにガバナーは効果的なクラブを育成するために、元、現、および次期地区指導者と協力して、地区内に継続性を確保するものとする。ガバナーは地区内において、次の事項の責務を負う。先ほど申し上げた 15 項目の RI の規定のことです。

①新クラブの結成。②既存クラブの強化助成。③地区指導者およびクラブ会長と協力し、地区内各クラブのため

に現実的な会員増強目標を設定して、会員増強を推進すること。④プログラムへの参加と資金寄付に関してロータリー財団を支援すること。⑤クラブ間およびクラブと RI の間の良好な関係を促進すること。⑥地区大会を計画、主宰すること。会長エレクト研修セミナーおよび地区研修協議会の計画・準備にあたるガバナー・エレクトに協力すること。⑦ガバナーの出席をできる限り効果的にするよう、年度を通じて個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。⑧地区内の各クラブの会長、幹事に対して月信を発行すること。⑨会長または RI 理事会の要請があれば、速やかに RI に報告を提出すること。⑩ガバナー・エレクトに対して、国際協議会の前に地区内のクラブの状況について詳細な情報を提供し、併せてクラブ強化策の勧告案を提供すること。⑪地区における指名および選挙が、RI 定款、RI 細則、および既定の RI の方針に則って確実に実施されるよう計らうこと。⑫地区内で運営されているロータリアンのグループ（ロータリー友情交換、国際共同委員会、世界ネットワーク活動グループなど）の活動について定期的に尋ねること。⑬地区で保存すべき文書をガバナー・エレクトに引き継ぐこと。⑭地区における RI 役員としての職責に属するその他の任務を遂行すること。⑮クラブの定款および細則が、組織規定を遵守していることを確認する。規定審議会開催後は特にこれを行う。

（規定審議会とは国際ロータリーの定款、細則を変える立法機関。3 年に一度開催）

【最後に】最近新しいクラブができましたのでご紹介します。信州友愛ロータリークラブという名前で、ネットで例会を行う新しいやり方のクラブです。RI から認証を受けた立派なロータリークラブです。例会はこういうふうに直接会場に集まることはなく、それぞれの場所から参加するそうです。加盟伝達式が昨年 11 月 19 日に済んでおります。所属グループは中信第二グループ、会長は金見さんで、会員数は 22 名です。以上で終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。

◆今後の例会日程

4 月 9 日	金	年頭所感 諏訪市市長
4 月 16 日	金	ガバナー補佐訪問・お花見例会
4 月 23 日	金	クラブフォーラム 外部講師卓話